

平成30年7月放送総局長定例記者会見要旨

(1) 西日本豪雨災害の報道について (木田放送総局長)

西日本を中心とした今回の記録的な豪雨災害では、210人以上が亡くなり、いまだに安否がわからない人もいるなど大きな被害が出た。特に広島県や岡山県、愛媛県などでは、住宅やライフラインに甚大な被害が出て、今も避難所で多くの方が不自由な生活を送っている。亡くなった方やご遺族に心より哀悼の意を表したい。また、避難所生活を余儀なくされている方々にお見舞いを申し上げる。

今回の豪雨災害でNHKでは、6日(金)朝8時15分から特設ニュースなどを含め、すべての府県で特別警報が解除される8日夜までの3日間で、ニュース・気象情報を総合テレビで約35時間放送した。特に、最初に福岡、佐賀、長崎の3県に特別警報が発表された6日夕方からは、翌朝にかけて終夜、ニュースや気象情報をお伝えした。また「ニュース7」は、6日が1時間50分、7日は1時間15分、8日は1時間に、それぞれ拡大するなどして、豪雨の状況や避難指示などの情報をお伝えした。

NHKは全国からこれまでにのべ600人以上の応援要員を広島、岡山、松山などの各放送局に派遣し、現地局の職員とともに、災害情報だけでなく熱中症への注意や被災された方の心身のケアも含め、全局態勢で、情報の発信に努めているほか、避難所にテレビを設置する支援も続けている。

またインターネットでは総合テレビの特設ニュースを6日朝から9日夜まで同時配信した。

NHK NEWS WEBサイトでは、最新ニュース、雨雲レーダー、各地の避難情報等がわかる特設サイトを開設し、各地の大雨の状況や河川の状況をライブストリーミングで配信したほか、ツイッターのNHK公式アカウントでも雨や避難、防災上の注意点などの細かい情報をお伝えしている。

NHKは、「減災」報道に力を入れ、「自分のこととして受け止めてもらえる防災・減災報道の強化」を目指している。甚大な被害の出た今回の豪雨災害での報道を検証し、危険な地域からの避難に結びつく報道を目指していきたいと思う。

(2) 「2018 FIFAワールドカップ ロシア」について (木田放送総局長)

1か月にわたり熱戦が続いた「2018 FIFAワールドカップ」ロシア大会が終わった。日本代表戦を始め、日曜深夜の決勝も平均視聴率が、前半が16.9%、後半も13.8%となるなど、大会を通じて全体的によくご覧いただいた。

「ワールドカップ」特設サイトへの訪問者数は、昨日7月17日の時点でおよそ671万となり、ピョンチャンオリンピックの506万を大きく上回った。また、ユーチューブに掲載しているハイライト動画では、日本対ベルギー戦の再生回数が431万回。NHKのツイッターでは、ドイツが韓国に敗れ1次リーグ敗退が決まった試合の動画の再生回数が115万回再生されるなど、多くの方にご覧いただいた。

インターネットで放送と同時に配信する実験「試験的提供A」では、24試合を配信し、大会を通じた視聴者数は191.9万だった。最もよく見られたのは、日本代表の初戦、コロンビア戦で、視聴者数は59.8万。次いで、日本の決勝トーナメント進出がかかったセネガル対コロンビア戦の36.9万。3番目が、決勝トーナメント1回戦の日本対ベルギー戦で、34.8万であった。

(3) 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた放送について (木田放送総局長)

NHKでは、2020年東京オリンピック・パラリンピックのそれぞれ2年前となる今月と来月に、特別番組を放送する。

今月24日には、東京オリンピック開会式のちょうど2年前を迎える。そこで「みんなで。2020宣言！」という共通のキャッチフレーズで、番組横断的なキャンペーンを実施。ニュースや情報番組としては、「おはよう日本」「あさイチ」「首都圏ネットワーク」「ニュースウオッチ9」「サンデースポーツ2020」など、それぞれのテーマと切り口で大会2年前の現状と課題についてお伝えする。

午後7時半からは、内村光良さんがMCを務めるバラエティー特集番組「内村五輪宣言！」を放送する。期待のアスリートや大会を運営する組織委員会などを独自の視点で取材。スタジオで新たに採用された

自転車の競技種目、BMXの演技が披露されるほか、人気アーティスト「Perfume」が最先端技術を駆使したパフォーマンスを行うなど、家族で楽しんでいただける番組だ。

25日には「超絶凄（すご）ワザ！」のスペシャル版を放送。オリンピック、パラリンピックでの使用を目指し開発している用具に込められた、驚きの技術を紹介する。

また、東京パラリンピック開幕までちょうど2年となる8月25日には、「2年後のヒーロー&ヒロインをもっと応援したくなる！東京2020パラリンピック大図鑑」を生放送する。アスリートやゲストのみなさんに「驚く」「感動する」「笑える」といったさまざまな企画を通じてパラスポーツを体験してもらい、その魅力を余すところなく伝えてもらう。

BS1では、同じく8月25日に「東京オリパラ団スペシャル」の中で、完成したばかりの「アニ×パラ あなたのヒーローは誰ですか？」を放送する。NHKの人気アニメ「ベイブーステップ」の世界に、世界で活躍する車いすテニスプレーヤーの国枝慎吾選手が登場する、「アニ×パラ」の第3弾。

また8月22日には、総合で、1964年の東京パラリンピックを成功に導いた医師・中村裕さんの活躍を描いたドラマ「太陽を愛したひと～1964あの日のパラリンピック～」を放送する。

(詳細は報道資料を参照)

(4) 「#8月31日の夜に。」 (菅副総局長)

「#8月31日の夜に。」は、夏休み最後の夜の不安で憂うつな気分を分かち合おうと、昨年立ち上げたキャンペーンである。Eテレでは、今年も8月31日の夜、SNSやツイッターとも連動し、一人ひとりの声に耳を傾ける番組をお送りする。

午後6時55分からの「いじめをノックアウトスペシャル」では、ウェブサイト上に設けた仮想都市「ハナシティ」に寄せられた多くの声を元に、いじめについて堂々と語り合う番組を110分の生放送でお届けする。

「ハートネットTV+ 8月31日の夜に。」では、もやもやした気持ちが高まる8月31日の夜を一緒に過ごす「居場所」を作る。「学校がつらい」「生きる意味が分からない」などと悩む10代が、自分の体験や思いを投稿できる「ぼくの日記帳」を、今日7月18日から「ハートネットTV」の番組ホームページ上に立ち上げる。夏休みの間、この「日記帳」に書き込まれた「もやもやした瞬間のエピソード」を、8月31日の番組内で紹介。悩む10代の声を受け止め、一歩前に進むためのヒントを見つける。

そのほか、ラジオ第1では、リスナーとともに悩める若者を支える方法を考える「悩める若者たちへの応援歌」を放送する。

またBSプレミアムでは、学生時代、引きこもりだったカリスマアニメ脚本家の自伝ドラマ「学校へいけなかった私が『あの花』『ここさけ』を書くまで」をお送りするなど、関連番組を放送する。

(詳細は報道資料を参照)

(5) NHKスペシャル「MEGAQUAKE」 (荒木副総局長)

9月1日・防災の日のNHKスペシャルでは、「MEGAQUAKE 南海トラフ巨大地震 Xデーを予測せよ」を放送する。

6月18日、大阪北部地震が発生し、大きな被害が出た。今後30年以内には、70～80%の確率で「南海トラフ巨大地震」が発生するとされており、改めて警戒意識が高まりつつある。巨大地震はいつ発生するのか、研究者たちが注目しているのが、ゆっくりと岩盤がずれる動き「スロースリップ」。その発生場所が次第に巨大地震の想定震源域に近づきながら、地震の原動力となる「ひずみ」の蓄積を高めている可能性がある」と指摘されている。

そうした中、国は去年11月に「何らかの異変が生じ、地震発生の可能性が高まったと判断される場合、臨時情報という形でいち早く伝える」という新たな方針を発表した。いつ出されるかもしれない臨時情報を自治体や住民はどう受け止め、命や社会を守る行動につなげられるのか。また巨大地震をどこまで事前に予測し、減災・防災を実現できるのか。番組では、大規模住民アンケートや最新の科学的知見に基づいたシミュレーションなどから検証する。

(詳細は報道資料を参照)

(6) NHKスペシャル「未解決事件」 (荒木副総局長)

「NHKスペシャル」では、社会に大きな衝撃を与えた事件を徹底検証し、未来への教訓を探るシリーズ「未解決事件」を9月2日と8日の2回にわたり放送する。第7弾となる今回は、「警察庁長官狙撃事件」。1995年3月30日、全国の警察のトップである國松孝次警察庁長官が自宅マンションを出たところを何者かに狙撃され、ひん死の重傷を負う事件が起きた。日本の治安を根底から揺るがす大事件だったが、犯人を特定できないまま2010年3月に時効を迎えた。警察の威信をかけた捜査はなぜ犯人を特定するに至らなかったのか、そしてこの事件は社会に何を突きつけたのか。番組では、独自取材から得た資料や関係者の証言をもとにした「ドキュメンタリー」と「実録ドラマ」の2つの切り口から、日本を揺るがした事件の闇に迫る。

(詳細は報道資料を参照)

(7) チコちゃんに叱られる！夏の拡大スペシャル (菅副総局長)

4月から始まり、多くの反響をいただいている番組「チコちゃんに叱られる！」の拡大スペシャルを8月17日に放送する。拡大スペシャルでは「お盆って何？」とか、「なんで恥ずかしいと顔が赤くなるの？」などとチコちゃんに問われる。疑問を解き明かしていくと、隠されたドラマや驚きの秘密が明らかになっていく。また、番組のスタート以来、視聴者から「取り上げてほしい」という疑問が1万以上寄せられており、拡大版では、そうした疑問も取り上げて徹底取材。さらに、ゲストがチコちゃんと狭い部屋で1対1で向き合い問い詰められていく、「チコの部屋」もお送りする。

(詳細は報道資料を参照)

(8) 日仏友好160年 (菅副総局長)

BSプレミアムでは、9月15日にスーパープレミアム「日仏友好160年 とことんフランス！」を5時間にわたって放送する。今年は、日仏修好通商条約が締結されて160年となる、記念の年。パリでは、7月から官民をあげた一大文化イベント「ジャポニスム2018」が開かれている。番組では、メインパーソナリティーを務める女優の深田恭子さんがパリを訪れ、19世紀にモネなどの芸術家に大きな影響を与えたジャポニスムと、21世紀の日本が創造する新しいジャポニスムの両方を体験。フランス料理と日本酒のマリアージュの現場をレポートするなど、フランスの魅力をたっぷり伝える。また、パリで大ブームの魚の「活け締め」や「漫画」などの日本文化を、パリ在住の中村江里子さんと辻仁成さんが取材するほか、「質屋」を通してフランス人の知られざる暮らしを見つめるドキュメントや、「世界入りにくい居酒屋」のフランススペシャルも登場。9月は、エッフェル塔が“日本の美”に染め上げられ、ベルサイユ宮殿で公式晩さん会も開かれる。ぜひ深田さんと一緒に、フランスの魅力を“とことん”味わいつくす夜をお楽しみいただきたい。

(詳細は報道資料を参照)